

水呑地蔵尊／土丸町内会／泉佐野市／田尻町／熊取町／八淨寺／インタークラフト通商／(株)フタバ／(株)田中クリーン商事／馬場谷タオル(有)／シマ／(株)東進／丸十タオル(有)／(有)ユリヤ／み奈美亭／(株)エリー／梶谷商店／(株)フェミニン／神藤織物(株)／リコズ・ワールド／曾我(株)／サンタ通商(株)／エルチャレンジ／山本紙器(株)／(有)日神／広洋物産(株)／西本タオル(株)／(有)プレスコート／(株)万雄／(有)丸繁／

高野山宿坊組合／岩代商店／神通温泉／南天苑／ときめきの宿ふるさとネット／原花店／(株)マサイ／(福)信和福祉会 圭の家／太陽川辺作業所／(株)丸中／(有)おはなやさん凜／(株)スミシン／重光商事(株)／NPO法人サンフェイス／ワークショップエイブル大阪

(順不同、敬称略)

4月・5月の主な行事

4月

10日(土) ダンス活動絆
13日(火) エンゼルの会
16日(金) クラブ活動
20日(火) エンゼルの会総会

5月

8日(土) ダンス活動絆
18日(火) エンゼルの会
21日(金) クラブ活動

※予定は変更する場合もございますので、何卒ご了承下さい。

編集後記

今年の桜は早くに咲き始め、3月の間に満開を迎えました。新年度を迎え、葉桜となったささゆり前のソメイシノを見ていると、足早な季節の移り変わりを感じます。4月より、新しい体制でのささゆり作業所が始まりました。新型コロナの影響を考えながらですが、今年は季節感のある1年を過ごしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

支援課 森本 結

ほっと一息コーナー

日に日に気温が高くなり、暖かくなってきましたね。今年は新型コロナウイルスの影響で、ささゆり作業所もお花見は例年よりも寂しいものとなりました。ですが、毎日の送迎コースや水呑地蔵尊の桜を見て、皆さん「綺麗ね」「桜たくさん咲いてるね」と楽しんでおられました。なかなか遠くに出かけることは出来ませんが、身近にある楽しみを見つけることも良いですね。まだまだ不安な日々が続きますが、発見のある毎日にしていきたいものです。

支援課 奥 陽澄実

より良い広報紙を目指すため、ささゆりだよりについての意見や要望を随時募集しています。あんなことが知りたい、こんなことが載っていると役に立つ等、皆様のご意見をお寄せ下さい。

*編集委員：字室 克哉・安藤 信二・森本 結

〒598-0022 大阪府 泉佐野市 土丸904番地 TEL 072-459-7024

FAX 072-459-7350

E-mail: selp-sasayuri@nifty.com URL: <http://s-seikoukai.or.jp/sasayuri/>



Selp-Sasayuri News ささゆりだより

第138号 2021年4月12日発行 発行責任者：社会福祉法人清光会 ささゆり作業所 影山 英夫

令和3年度を迎えて

平素はささゆり作業所の運営に心あるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年の始まりは、新型コロナウイルスが世界に感染拡大し、猛威を振るい始めていました。日本も例外ではなく、令和2年4月7日に緊急事態宣言が発令され、1ヶ月間に及ぶ学校の休校や飲食店の休業・時短要請や外出の自粛等、社会や経済にも多大な影響を及ぼしました。

ただ、当時の一日の新規感染者数は東京でも100人程度、全国でも500人に満たない数値でした。その間、様々な努力の成果もあり、緊急事態宣言が解除される5月7日には国内の一日の新規感染者数も100人を切り、この危機を乗り切ったのではないかと思われました。しかし、8月頃には再び増加し、10月頃までは小康状態を保っていましたが、11月から爆発的に増加し、1月には全国の一日の新規感染者数が8000人近くにまで増加しました。そして、2度目の緊急事態宣言が発令され、再び減少傾向に進み、現在に至っています。しかし、現在も一日全国で1000人以上の新規感染者が発生しています。1回目の緊急事態宣言突入時の一日の感染者数より、多い数値となっています。今年2月より、ようやくワクチン接種が始まり、希望の光が見えてきましたが、国民の生活や文化、経済に大きな影響を与えた一年となりました。

ささゆり作業所も例外ではなく、コロナ禍による大きな影響を受けています。仕事の減少による収入の低下、感染防止対策による行事や活動の停止や制限等、苦難の状況が続いています。日々のコロナ対策としては、昼食時の密を避ける為、2部制での食事、検温、空気清浄機の増台、不織布マスクの着用、手洗い、換気の徹底等出来る限りのことは続けています。そんな中、ふと、ささゆりの日常に目を向けますと、こんな状況でも、以前と変わらない利用者さん達の笑顔や一生懸命作業する姿、皆様それぞれの日常があります。

そこで、私が感じるのは、コロナ禍でメディアを通じ、様々な不安や恐怖を煽る報道が続けられ、多大なストレスを感じる混沌とした生活が続いていますが、利用者さん達の日常をみていると、喜びや幸せは以前と変わらず存在しているという事を教えてもらえます。当然、その陰には家族や支援する方が利用者さんの毎日を幸せにしていこうという想いがあるからでしょう。

やはり、人と人との繋がりとは心の支えとなります。コロナ禍で色々なことができない不安やストレスを感じながら過ごす毎日より、困難な状況でも、それぞれのコミュニティの中で人との繋がりがあり、身近な人達と喜びや幸せを探し出しながら過ごす毎日の方が良いのではないのでしょうか。

コロナ禍を乗り越えていくには、皆様で支え合う気持ちが重要だと思います。これからも皆様のご協力に感謝し、安全と安心が守られ、利用者さん達が日々楽しく過ごせる施設づくりを目指してまいりますので、今後ともご支援、ご協力の程、よろしくお願い致します。

ささゆり作業所 支援課 課長 高道雄治